



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名 東海染工株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 八代 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 津坂 明男

TEL 052-581-8141

四半期報告書提出予定日 平成23年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 10,934 | △2.5 | △148 | — | △197 | — | 521 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 11,215 | △17.7 | △222 | — | △280 | — | △536 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 15.05 | — |
| 22年3月期第3四半期 | △15.46 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|-------|-------|------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 15,597 | 4,592 | 4,592 | 28.2 | 126.80 | |
| 22年3月期 | 15,342 | 4,197 | 4,197 | 26.1 | 115.63 | |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,391百万円 22年3月期 4,010百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 23年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 23年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成23年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 14,650 | △4.2 | 110 | — | 10 | — | 710 | — | 20.48 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 36,142,529株 22年3月期 36,142,529株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,506,514株 22年3月期 1,462,495株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 34,664,261株 22年3月期3Q 34,688,268株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 平成23年3月期の期末の配当予想につきましては、当社グループを取巻く経営環境が極めて厳しい状況下であり、先行きが不透明であることから、現時点では未定とし、今後の業績動向等を総合的に勘案の上、今後、配当予想が決定次第、速やかに開示致します。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 11 |
| 4. 補足情報 | 11 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 11 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新興国への輸出増加や政府による景気刺激策によって、企業収益に回復の兆しが見られましたが、厳しい所得・雇用環境や円高の長期化により、株価低迷が続くなど、景気の先行き不透明感は払拭されないまま推移いたしました。

繊維業界におきましては、衣料品分野を中心に、流通段階での過度な在庫調整の是正もあり、受注環境に回復傾向が見られましたが、消費者の節約志向は依然として根強く、衣料品の買い控えにより、厳しい環境が続いております。

このような状況のもとで、当社グループは、より一層の収益改善を図るために、グループ全体で効率化を徹底追求し、事業構造の改革に積極的に努めてまいりました。国内染色加工事業におきましては、当期に織物捺染設備を浜松事業所に集約し、織物加工事業の統合を完了したことに加えて、同業他社から事業を吸収して新たに磐田事業所を発足し、国内染色加工事業の再構築を完了させました。海外繊維事業におきましては、東南アジア戦略強化の方針のもと、インドネシア子会社及びタイ子会社が、旺盛な内需を背景に現地顧客との取り組み強化を推進する一方で、商社や現地紡績・織布会社と連携した生産・販売の推進により、日本向け受注を更に拡大しております。特にインドネシアにおきましては、現地デザイン子会社を設立し、ローカル向け受注体制の更なる強化を進めたほか、インドネシア子会社を中心に繊維製品の一貫生産体制のインフラ整備を進め、製品販売ビジネス拡大の基盤強化に努めました。

以上の取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、国内染色加工事業が増収となりましたが、円高に伴う海外子会社の邦貨換算の影響により、売上高は10,934百万円（前年同期比2.5%減、281百万円減）となり減収となりました。一方、利益面では、好調な海外繊維事業が大きく利益貢献したことに加え、第3四半期以降、国内染色加工事業におきまして、事業統合・事業所新設効果の成果により業績が大幅に改善しました。この結果、第2四半期までの損失幅が大きく黒字回復までには至りませんでした。営業損失は148百万円（前年同期は営業損失222百万円）、経常損失197百万円（前年同期は経常損失280百万円）となり、前年同期比でも業績を改善させております。なお、特別利益として、名古屋事業所工場跡地の売却に伴う固定資産売却益1,379百万円を計上した一方で、事業統合に伴う固定資産廃棄損等の事業再構築費用473百万円などを特別損失に計上した結果、法人税等を控除した四半期純利益は521百万円（前年同期は四半期純損失536百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①染色加工事業

染色加工部門は、国内におきまして、第2四半期までは、織物加工事業統合に伴う捺染加工設備の一時停止の影響もあり業績は大きく低迷しましたが、第3四半期以降、積極的な営業展開も奏功し受注状況が改善したことに加え、織物加工事業統合や事業所新設など事業再編の成果が全面的に寄与し、業績の改善が大幅に進みました。一方、海外におきましては、インドネシア子会社及びタイ子会社が、旺盛な内需のもと、ローカル向け受注が好調に推移したほか、日本向け受注も販路拡大に努めた結果、順調に伸長しました。これらの結果、染色加工部門の売上高は6,869百万円となりました。

テキスタイル販売部門は、日本国内では、店頭における衣料品の販売不振により、衣料向けの販売が低迷し苦戦しました。一方、インドネシア子会社にて、米国・日本向け販売が好調に推移したものの、欧州向け販売が落ち込み、テキスタイル販売部門の売上高は1,772百万円となりました。

以上により、染色加工事業の売上高は8,642百万円、営業損失は242百万円となりました。

②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、中国生産の不安定化や日本インドネシア経済連携協定（EPA）を背景に、インドネシア子会社を活用した繊維製品の一貫生産体制の構築を推進し、従来の中国からインドネシアへの生産切替え・移管を積極的に進めた結果、売上高は1,559百万円となり、営業利益は20百万円となりました。

③保育サービス事業

働く女性の増加などの社会的変化により保育所需要がより一層高まる環境のもと、基盤である東海地区エリアを中心に積極的な営業活動を進めたほか、受託運営している保育園における児童数も順調に増加し、売上高908百万円、営業利益は30百万円となりました。

④倉庫事業

国内染色加工事業の事業集約の影響により、荷受取扱数量が減少し収入が落ち込む中、各拠点にて経費節減に努めましたが、売上高212百万円、営業損失は15百万円となりました。

⑤その他の事業

その他の事業には、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は142百万円、営業利益は56百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、15,597百万円（前連結会計年度末比1.7%増、255百万円増）となりました。これは主に現金及び預金の増加452百万円、投資有価証券の減少158百万円等によるものです。

負債は、11,005百万円（前連結会計年度末比1.3%減、139百万円減）となりました。これは主に長期借入金の減少106百万円等によるものです。

純資産は、4,592百万円（前連結会計年度末比9.4%増 395百万円増）となりました。これは主に四半期純利益の計上521百万円、有価証券の時価評価に伴う有価証券評価差額金の減少119百万円等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、営業活動により165百万円の減少、投資活動により746百万円の増加、財務活動により123百万円の減少となった結果、前連結会計年度末と比べ、452百万円増加し、2,354百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益662百万円を計上しましたが、有形固定資産売却益の計上1,379百万円、事業再構築費用の計上473百万円、減価償却費413百万円、棚卸資産の増加額175百万円等により、165百万円の支出（前年同期は458百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産売却による収入1,503百万円、有形固定資産の取得による支出664百万円、有価証券の取得による支出70百万円等により、746百万円の収入（前年同期は327百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純増加額84百万円、長期借入金の調達による収入420百万円、長期借入金の返済による支出574百万円等により、123百万円の支出（前年同期は6百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想については、当第3四半期決算を踏まえ検討した結果、平成22年11月11日に公表いたしました通期の予想について変更は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業損失及び経常損失はそれぞれ1,703千円増加し、税金等調整前四半期純利益は12,932千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は31,562千円であります。

表示方法等の変更

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,354,123 | 1,901,244 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,797,120 | 3,864,952 |
| 有価証券 | 70,813 | — |
| 商品及び製品 | 298,681 | 254,535 |
| 仕掛品 | 424,331 | 348,674 |
| 原材料及び貯蔵品 | 359,319 | 309,648 |
| 繰延税金資産 | 31,197 | 67,256 |
| その他 | 735,916 | 215,391 |
| 貸倒引当金 | △6,401 | △7,242 |
| 流動資産合計 | 8,065,102 | 6,954,461 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,563,017 | 2,004,507 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,074,745 | 2,345,370 |
| 土地 | 1,826,897 | 1,829,447 |
| 建設仮勘定 | 77,932 | 40,011 |
| その他(純額) | 65,384 | 67,317 |
| 有形固定資産合計 | 5,607,977 | 6,286,654 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 13,685 | 21,481 |
| その他 | 40,900 | 29,597 |
| 無形固定資産合計 | 54,585 | 51,079 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,625,824 | 1,784,598 |
| 繰延税金資産 | 12,789 | 11,263 |
| その他 | 237,530 | 255,716 |
| 貸倒引当金 | △5,975 | △1,238 |
| 投資その他の資産合計 | 1,870,169 | 2,050,338 |
| 固定資産合計 | 7,532,732 | 8,388,072 |
| 資産合計 | 15,597,834 | 15,342,534 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,263,848 | 2,204,290 |
| 短期借入金 | 3,884,686 | 3,883,272 |
| 未払法人税等 | 63,923 | 63,691 |
| 賞与引当金 | 23,079 | 109,710 |
| その他 | 1,534,110 | 1,560,329 |
| 流動負債合計 | 7,769,648 | 7,821,295 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 180,000 | 210,000 |
| 長期借入金 | 701,633 | 807,799 |
| 退職給付引当金 | 1,783,975 | 1,674,147 |
| 役員退職慰労引当金 | 289,101 | 312,585 |
| 環境対策引当金 | 17,950 | — |
| 資産除去債務 | 35,703 | — |
| 負ののれん | 14,568 | 19,424 |
| その他 | 212,804 | 299,851 |
| 固定負債合計 | 3,235,736 | 3,323,808 |
| 負債合計 | 11,005,385 | 11,145,103 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,300,000 | 4,300,000 |
| 資本剰余金 | 1,400,479 | 2,413,074 |
| 利益剰余金 | 62,558 | △1,471,089 |
| 自己株式 | △335,579 | △332,858 |
| 株主資本合計 | 5,427,458 | 4,909,126 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 60,070 | 179,729 |
| 為替換算調整勘定 | △1,095,530 | △1,078,711 |
| 評価・換算差額等合計 | △1,035,460 | △898,982 |
| 少数株主持分 | 200,451 | 187,287 |
| 純資産合計 | 4,592,449 | 4,197,431 |
| 負債純資産合計 | 15,597,834 | 15,342,534 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上高 | 11,215,523 | 10,934,188 |
| 売上原価 | 10,119,308 | 9,755,084 |
| 売上総利益 | 1,096,214 | 1,179,104 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,318,317 | 1,327,693 |
| 営業損失(△) | △222,102 | △148,588 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,605 | 753 |
| 受取配当金 | 32,833 | 33,235 |
| 負ののれん償却額 | 4,856 | 4,856 |
| 為替差益 | 22,834 | 485 |
| 雑収入 | 45,937 | 82,884 |
| 営業外収益合計 | 109,066 | 122,215 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 51,075 | 38,085 |
| 退職給付費用 | 93,832 | 93,832 |
| 雑支出 | 22,918 | 39,015 |
| 営業外費用合計 | 167,826 | 170,933 |
| 経常損失(△) | △280,862 | △197,306 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1,379,491 |
| 貸倒引当金戻入額 | 2,831 | — |
| 特別利益合計 | 2,831 | 1,379,491 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 60,119 | — |
| 事業再構築費用 | — | 473,691 |
| その他 | — | 45,840 |
| 特別損失合計 | 60,119 | 519,531 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △338,150 | 662,654 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 74,055 | 67,925 |
| 法人税等調整額 | 56,149 | 32,922 |
| 法人税等合計 | 130,204 | 100,848 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 561,806 |
| 少数株主利益 | 67,827 | 40,014 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △536,183 | 521,792 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △338,150 | 662,654 |
| 減価償却費 | 480,497 | 413,646 |
| 減損損失 | 60,119 | — |
| 事業再構築費用 | — | 473,691 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 19,371 | 111,342 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △3,014 | 3,923 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 584 | △86,630 |
| 受取利息及び受取配当金 | △35,438 | △33,988 |
| 支払利息 | 51,075 | 38,085 |
| 為替差損益(△は益) | △65,076 | △18,188 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | — | △1,379,491 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 249,445 | 54,161 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 82,408 | △175,898 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △387,805 | 71,810 |
| 未払費用の増減額(△は減少) | △530,308 | △22,220 |
| その他 | 43,398 | △99,584 |
| 小計 | △372,891 | 13,312 |
| 利息及び配当金の受取額 | 35,438 | 33,988 |
| 利息の支払額 | △49,973 | △37,768 |
| 事業再構築費用の支払額 | — | △100,408 |
| 法人税等の支払額 | △70,574 | △74,328 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △458,000 | △165,204 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の取得による支出 | — | △70,881 |
| 補助金の受取額 | 18,483 | — |
| 有形固定資産の取得による支出 | △349,377 | △664,896 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 1,503,794 |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △28,689 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 480 | — |
| 関係会社出資金の払込による支出 | — | △8,050 |
| その他 | 3,003 | 14,796 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △327,410 | 746,072 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|-----------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 240,337 | 84,266 |
| 長期借入れによる収入 | 5,224 | 420,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △492,919 | △574,006 |
| 社債の発行による収入 | 295,775 | — |
| 社債の償還による支出 | △40,000 | △30,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △834 | △3,806 |
| 自己株式の売却による収入 | — | 345 |
| 配当金の支払額 | △207 | △27 |
| 少数株主への配当金の支払額 | — | △20,960 |
| その他 | △1,117 | 472 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 6,258 | △123,715 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 25,349 | △4,274 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △753,803 | 452,878 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,962,469 | 1,901,244 |
| 連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 | 74,111 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,282,777 | 2,354,123 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 繊維事業 (千円) | 不動産 賃貸事業 (千円) | 機械販売 事業 (千円) | 倉庫事業 (千円) | 保育サー ビス事業 (千円) | システム 事業 (千円) | その他 の事業 (千円) | 計 (千円) | 消去又は 全社 (千円) | 連結 (千円) |
|---------------------------------------|--------------|---------------------|--------------------|--------------|----------------------|--------------------|--------------------|------------|--------------------|------------|
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| (1) 外部顧客 に対する 売上高 | 10,258,292 | 54,039 | 36,951 | 25,688 | 809,849 | 28,548 | 2,153 | 11,215,523 | - | 11,215,523 |
| (2) セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高 | 2,021 | 13,377 | 64,527 | 244,069 | - | 39,837 | - | 363,832 | (363,832) | - |
| 計 | 10,260,313 | 67,416 | 101,479 | 269,758 | 809,849 | 68,385 | 2,153 | 11,579,356 | (363,832) | 11,215,523 |
| 営業利益又 は営業損失 (△) | △270,465 | 50,029 | 11,312 | △15,817 | 24,864 | △25,039 | 1,213 | △223,902 | 1,800 | △222,102 |

(注) 1. 事業の区分方法は、製品の種類及び性質により区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 繊維事業……………天然繊維織物加工、合成繊維織物加工、編物加工、技術指導料、買取二等反売上、テキスタイル（衣料関連、インテリア関連、スポーツ関連等）、縫製品（パンツ、パジャマ、カジュアルシャツ等）
- (2) 不動産賃貸事業……事業用土地、店舗、駐車場、住宅、保養施設の賃貸
- (3) 機械販売事業……………染色関連開発機器・工業薬品の分析装置の販売等
- (4) 倉庫事業……………繊維製品等の荷役・保管等
- (5) 保育サービス事業…ベビーシッターサービス、託児所での保育サービス
- (6) システム事業……………ソフト開発の請負等
- (7) その他の事業……………包装資材販売等

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 日本 (千円) | 東南アジア (千円) | 北米 (千円) | 計 (千円) | 消去又は全社 (千円) | 連結 (千円) |
|-----------------------|------------|---------------|------------|------------|----------------|------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1) 外部顧客に対する売上高 | 8,575,092 | 2,640,430 | - | 11,215,523 | - | 11,215,523 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 177,031 | 19,561 | - | 196,592 | (196,592) | - |
| 計 | 8,752,124 | 2,659,991 | - | 11,412,115 | (196,592) | 11,215,523 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △447,567 | 245,235 | △20,939 | △223,271 | 1,168 | △222,102 |

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) 東南アジア……………タイ・インドネシア
- (2) 北米……………アメリカ

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

| | 北米 | アジア | その他の地域 | 計 |
|--------------------------|---------|-----------|---------|------------|
| I 海外売上高（千円） | 887,910 | 1,072,056 | 683,019 | 2,642,986 |
| II 連結売上高（千円） | | | | 11,215,523 |
| III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%） | 7.9 | 9.6 | 6.1 | 23.6 |

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) アジア……………中国・韓国・その他

(3) その他の地域…欧州・中近東・豪州・中南米・アフリカ・その他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の仕向地により区分した売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社にて全社的な経営戦略を立案・策定すると共に、各事業部・子会社の各事業単位で具体的な事業戦略を立案し、事業活動を展開しております。当社の各事業は、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「染色加工事業」、「縫製品販売事業」、「保育サービス事業」、「倉庫事業」の4つを報告セグメントとしております。

「染色加工事業」は、天然繊維及び合成繊維の織物・編物加工及び衣料品関連を中心としたテキスタイル販売を行っております。「縫製品販売事業」は、縫製品（パンツ、パジャマ、カジュアルシャツ等）の販売を行っております。「保育サービス事業」はベビーシッターサービス、託児所での保育サービスを行っております。「倉庫事業」は、主に繊維製品等の荷役・保管等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|-----------|-----------|------------|---------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 染色加工 | 縫製品 販売 | 保育 サービス | 倉庫 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 8,509,225 | 1,433,180 | 908,957 | 3,450 | 10,854,813 | 79,375 | 10,934,188 | — | 10,934,188 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | 133,273 | 126,082 | — | 209,107 | 468,463 | 63,095 | 531,558 | △531,558 | — |
| 計 | 8,642,498 | 1,559,262 | 908,957 | 212,558 | 11,323,276 | 142,470 | 11,465,747 | △531,558 | 10,934,188 |
| セグメント利益又は 損失 (△) | △242,428 | 20,312 | 30,477 | △15,287 | △206,926 | 56,177 | △150,749 | 2,160 | △148,588 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額の内容は以下のとおりであります。

| | 当第3四半期連結累計期間 |
|------------|--------------|
| セグメント間取引消去 | 2,457千円 |
| のれんの償却額 | △296千円 |
| 合計 | 2,160千円 |

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

欠損填補に充てるため、資本剰余金1,011,855千円を利益剰余金に振り替えております。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 前年同四半期比 (%) |
|-----------|--|-------------|
| 染色加工 (千円) | 8,076,536 | — |

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数字によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高 (千円) | 前年同四半期比 (%) | 受注残高 (千円) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 染色加工 | 8,751,337 | — | 947,631 | — |

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) | 前年同四半期比 (%) |
|-----------------|--|-------------|
| 染色加工 | | |
| 染色加工部門 (千円) | 6,869,700 | — |
| テキスタイル販売部門 (千円) | 1,772,798 | — |
| 染色加工事業計 (千円) | 8,642,498 | — |
| 縫製品販売事業 (千円) | 1,559,262 | — |
| 保育サービス事業 (千円) | 908,957 | — |
| 倉庫事業 (千円) | 212,558 | — |
| その他の事業 (千円) | 142,470 | — |
| 小計 (千円) | 11,465,747 | — |
| セグメント間取引 (千円) | △531,558 | — |
| 合計 (千円) | 10,934,188 | — |

(注) 1. 主な相手先の販売実績については、総販売実績に対する割合がいずれも100分の10未満のため、記載を省略しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。